

みなさんこんにちは、参議院議員の木村英子です。

私は議員になって5年目に入りましたが、重度しょうがいしゃとしての現実からは逃げられず、沢山の障壁と闘うことの難しさを日々痛感しています。

どんなに社会の中で生き続けたくても、介護をしてくれる人がいなければ国会には通うことはできない現状の中で、いつ施設へ行くしかない状況に追い込まれてもおかしくはないほど生活は逼迫しているからです。

それは私だけではなく、同じ状況のなかで地域で必死に頑張っって自立生活をしているしょうがいしゃのみなさんから勇気をもらい、私は国会活動を頑張ることができています。

私は今年で地域での自立生活をはじめて40年になりますが、自立した頃の厳しい状況に、戻っているように感じています。

1970年代、施設収容中心だった時代に施設から飛び出したしょうがいしゃたちによって、地域で生きるための介護保障運動が始まり、その運動によって東京都単独事業として生まれた「重度脳性麻痺者介護人派遣事業」が、いくたびかの制度の変遷を経て現在の重度訪問介護制度になっています。

そして、日本は2014年には障害者権利条約に批准し、2016年には障害者差別解消法が施行され、各自治体では差別解消に向けた条例が次々とでき、法整備は進んできました。また、2003年の支援費制度から介護事業所が増え、頼めば介護者が派遣され昔のように命懸けで行政に対して座り込みまでの運動をしなくても生きられる社会になってきたかのように思えます。

しかし、しょうがいしゃ運動が始まってからすでに半世紀が経ちましたが、いまだに地域で安心して暮らすための介護保障も、住宅も、交通も、教育も、就労も、そして心のバリアも十分には改善されていません。

このような状況のなか、昨年には国連の障害者権利委員会から、日本の分離教育の中止と脱施設を進めるように、強く要請(勧告)されました。

しかし、日本では2016年に津久井やまゆり園での障害者殺傷事件が起き、今年には滝山病院での虐待や暴行事件が明らかになるなど、施設での悲惨な事件が次々と起きており、施設しか行き場がない状況に置かれているしょうがいしゃが後を絶たない現実に、むしろ私は施設中心の施策に戻っているようにさえ感じています。

また、コロナの到来も重なり人手不足はますます深刻になり、現状は介護者が見つからず、事業所からも派遣を断られ、しょうがい当事者が今まで命懸けで実現してきた地域での自立生活を断念し、施設に逆戻りせざるを得ない仲間が出てきてしまっているほど、しょうがいしゃの地域移行は後退してきています。

このような現状を打開するために今こそ、しょうがいしゃが健常者とともに生きていける社会（インクルーシブ社会）の実現を目指し、再びしょうがい当事者が団結し、運動の声をあげていきましょう。

木村英子

「2023 大フォーラム」へのメッセージ



「2023 大フォーラム」にご参加のみなさん、
こんにちは！社民党の福島みずほです。

皆さんの日頃のご奮闘に対し、心から敬意を表
します。

さて、岸田政権の暴走が止まりません。様々
な物価高騰が私たちの生活を苦しめる中、軍事
関連の予算拡大・大增税にばかり重視していま
す。岸田総理は口酸っぱく「経済」と言うもの
の、国民の視点に立った政策はなく、私たちの
「生活」を一切顧みていません。

こんな状況だからこそ「生活を守ること」に政策と予算を集中させるべきで
す。社民党は引き続き「軍拡より生活」を念頭に誰もが安心して暮らせる社会に
するべく、誰もが希望を持てる生活を実現できるようにみなさんと共に闘いま
す。

そして、そんな今こそ、「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラムをはじめ
とする、障がい者差別に対してとことん闘い続けているみなさんの出番です。国
連から突きつけられた日本政府勧告の内容を実現させましょう。そして、すべて
の人々の命が大切にされる社会、誰ひとり置き去りにされない世の中を本日のフ
ォーラムを通して作り上げましょう。

そのために私はこれからもみなさんとがっちりスクラムを組み、国会内外で全
力を尽くすこととお誓い申し上げ、本日の「大フォーラム」のご成功を心から祈
念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

2023年10月28日

社民党党首 参議院議員 福島みずほ

参加者のみなさんへひとことメッセージ

「骨格提言」の完全実現、私たち抜きに私たちのことを決めるな！ 声をあげ粘り強く取り組んでおられるみなさんに心から敬意を表し、連帯のメッセージをおくります。

岸田首相は「きく力」と言いながら、国民の声を無視し続けています。社会保障やくらしの予算を削減する一方で、43兆円もの大軍拡をおしすすめていることは許せません。戦争国家へと突き進む岸田首相をやめさせ、いのちとくらし、人権をまもる政治に変えましょう。

みなさんの取り組みは、誰もが自分らしく生きることができる社会をめざす人々への励ましと希望になっています。私もみなさんと力をあわせ、障害者権利条約にふさわしい障害者施策の実現へ、当事者が参加して施策を見直し・実施すること、抜本的に予算を増やすことを政府に求めていきます。ともに頑張りましょう。

2023年10月28日 日本共産党 参議院議員 吉良よし子



「骨格提言」の完全実現を求める2023大フォーラムのご開催、誠にありがとうございます。

障がいのある方々の権利を守り、福祉向上ために日々活動されている関係者の皆様に深く敬意を表します。

本日の大フォーラムを契機に、皆様の活動の輪が広がり、「骨格提言」の完全実現に向けて、大きく前進することを願っております。私も皆様と共に全力で取り組む決意です。

ともに頑張りましょう。

大フォーラムのご成功と皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈りし、メッセージといたします。



衆議院議員

2023年10月28日

金子 恵美

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム実行委員会 御中

2023. 10. 28 大フォーラムへのメッセージ

10. 28大フォーラムご参加の皆さん、こんにちは。

今年で10回目の開催なのですね、本当にお疲れ様です。私たちのことを私たち抜きに決めないで、のスローガンのもと、障害者自立支援法の撤回求める運動は、政権交代を経て障害者総合支援法と骨格提言、障害者権利条約の批准と国連人権委員会の総括所見など、重要な成果を収めました。一方で、こうして皆さんが声を上げ続けなければならない課題がまだまだ山積していることも事実だと思います。

旧優生保護法一時金支給法に基づく調査報告書が今年6月に衆参厚労委員長に提出されました。優生手術が合法化され、国会も自治体も社会全体が推進の旗振りをしていた時代がつい4半世紀前ではあったという事実が記されています。日本共産党も、1948年の法成立時、その後の改正時にも賛成してきたことをこの度発刊した「日本共産党の百年」の中に、「重大な誤り」として明記したところです。

優生思想は今も形を変えて現代に生きており、優生思想の根絶と差別の解消のために力をつくしてまいります。重度の障害ある人も生きるために必要な支援がきちんと保障され、地域の中で人間らしく暮らせること。精神や知的、発達障害などにおいても障害年金や交通運賃割引などで差別されないこと。学びの場や就業支援にもっと国が力を入れていくこと。皆さんとともに声を上げ、奮闘してまいります。

終わりに、本日の大フォーラムの成功を心から祈念し、メッセージとします。

2023年10月28日

日本共産党衆議院議員 高橋千鶴子

メッセージ

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム2023にご参加のみなさん、またオンラインでご参加のみなさんに、連帯のあいさつを送ります。

障がい者が分け隔てられることのない社会を、人間らしく生きる権利を守ろうと、日々奮闘されているご活動に敬意を表します。

障害者自立支援法違憲訴訟団と国が結んだ「基本合意」から 13 年、「骨格提言」から 12 年、政府は自立支援法を廃止するどころか、一部の手直しで障害者総合支援法を成立させました。

権利条約が制定される過程で、「私たち抜きに私たちのことを決めないで」が世界の障がい者の合言葉になりました。さまざまな施策や意思決定などの場に、障がい当事者の参加を位置づけることが急務です。

だれもが大切にされ、命と暮らしを何よりも大事にする政治に切り替えましょう。障がい者の権利が保障される社会を実現するため、みなさまとご一緒に力を合わせてがんばります。

2023 年 10 月 28 日

衆議院議員・日本共産党国会対策委員長
穀田 恵二

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 2023 へのメッセージ

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 2023 の開催、おめでとうございます。大フォーラムの皆様におかれましては、日頃より障害者福祉の向上にご尽力されていることに敬意を表します。

昨年出された国連の総括所見では、日本の障害者施策について多くの懸念や勧告が示されました。その中でも、早急な措置が求められるとして、障害者が地域で自立した生活をするために必要な整備や支援を行なうことなどに加え、インクルーシブ教育の実現を挙げています。政府は、ただちに総括所見に基づき、障害者施策を是正すべきです。

日本共産党は、障害者権利条約の実現に向けて、障害の有無にかかわらず、すべての人がくらしやすい社会をつくるために力を尽くします。

引き続き、みなさまの運動に連帯し、障害者の権利が保障される社会を実現するために奮闘する決意です。ともに、がんばりましょう。

2023 年 10 月 28 日

日本共産党 参議院議員 紙智子



「骨格提言」の完全実現を求める

2023.10.28 大フォーラムへのひとことメッセージ

2023.10.28 大フォーラムにご参加のみなさん、障害の有無にかかわらず個人として尊重され、真の意味で社会の一員として暮らせる共生社会をめざすご活動に心から敬意を表します。

自公政権は、社会保障を削減し、障害者施策も置き去りにする一方、自己責任をおしつける政治を続けてきました。

日本が2014年に批准した障害者権利条約は、「障害のない市民との平等の実現」が貫かれています。障害者が障害のない人と同様の当たり前の暮らしをするため、実現すべきは障害者権利条約、総括所見であり、障害者自立支援法違憲訴訟団との基本合意に基づいた「骨格提言」であることは明白です。

「骨格提言」を実現する法律の制定が急務です。私もみなさんと力を合わせ、全力を尽くす決意です。ともに頑張りましょう。

2023年10月28日

日本共産党 参議院議員 小池 晃

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 2023 御中

メッセージ

国連障害者権利委員会の総括所見は、我が国の障害福祉法制等について、障害のある人たちを権利の主体として捉えていないなど、人権保障の立場から厳しい勧告を行いました。「基本合意」にも「骨格提言」にも背をむけ続ける政府は、厳しく批判されなければなりません。

いま、障害者をめぐる法制度、社会の在り方全般に対し徹底した見直しが求められます。当事者や家族に「自己責任」「自助」を強いるのはやめ、命と暮らし、人権が尊重され、医療・障害福祉・介護など、ケアに手厚い社会に切り替えることが今こそ必要です。

その実現のために、みなさまとともに力を尽くす決意を表明するとともに、大フォーラムの成功を祈念しメッセージといたします。

日本共産党参議院議員 倉林明子

2023 大フォーラムへのメッセージ

大フォーラムの開催おめでとうございます。障害者の権利と生活の向上を目指す皆さんの日々の活動に敬意を表します。総合福祉部会の骨格提言の完全実施のために私も全力をあげる決意です。ともに頑張りましょう。

日本共産党・参議院議員 田村智子



しゆく
祝

「骨格提言」の完全実施を求める大フォーラム2023

「骨格提言」の完全実施を求める大フォーラム2023「実現させよう国連の総括所見！実現させるぞ骨格提言！」のご開催にあたり、連帯のエールをお送り致します。

明治維新以来つづく「経済成長と戦争優先の『産業軍事型社会』」の中で、そしていま「能率と効率が最も尊ばれている社会」の中で後回しにされ、1日1日の生活の中で様々な「バリア」「偏見」と戦って暮らしていらっしゃる、当事者の皆さんに、心から敬意を表します。

自民党の政治家からは「人生100年時代」と安易なアピールがありましたが、長生きすれば「健常者」も身体のおちこちの機能が衰えてきて、他の人の助けを必要とすることは明らか。「障がい」のある人が暮らしやすい社会づくりは、誰もが住みやすい社会づくりなのです。その先頭になって活動していらっしゃる皆さんの取り組みは高く評価されて当然です。

大フォーラムのご成功をお祈りするとともに、誰もが自分らしく生きられる社会づくりを共に進めることをお誓い申し上げて、連帯のメッセージといたします。

2023年10月28日

参議院議員

はがみちや
芳賀道也



参議院議員

芳賀道也事務所

〒100-8962

東京都千代田区永田町 2-1-1

参議院議員会館 917 号

電話

(03)6550-0917

FAX

(03)6551-0917

e-mail

michiya_haga01@sangiin.go.jp

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 2023 へのメッセージ

「私たち抜きに私達のことをきめるな！」 「実現させよう国連の総括所見！実現させるぞ骨格提言！」と人権保障、全面参加と平等、共生社会の実現のために日々大奮闘されておられる皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

先日、西宮市の本人中心支援計画など学ぶ学習会とシンポジウム@名古屋市に参加し、全国で充実していきたいと痛感しました。暮らしの場、多様な支援を充実させることや全国どこに暮らしていても、当事者の思い、意見をふまえた合理的配慮の徹底、命、尊厳が守られる体制の強化が必要です。

皆様が一生にわたり地域で暮らしていくための「骨格提言」の完全実現と国連勧告に基づく法改正へ政府に公的責任を果たさせるために私も力いっぱい頑張っまいます。

集会のご成功と皆様のご健康を心より祈念しております。



2023年10月28日

日本共産党 衆議院議員

もとむら 伸子



『骨格提言』の完全実現を求める大フォーラム 2023」への メッセージ

『骨格提言』の完全実現を求める大フォーラム 2023」のご開催、おめでとうございます。

2011年8月、障害者制度改革推進会議の総合福祉部会から「骨格提言」が提出されました。以来、その実現を求めてたゆまぬ努力を続けておられる皆様に心より敬意を表します。

昨年、国連障害者権利委員会が日本の障害者政策について初めて勧告を出しました。その冒頭、同委員会は「日本の政策がパターナリズム（父権的）に偏っている」、つまり「私たち抜きに私たちのことを決めるな」と逆方向だと指摘しています。障害者総合支援法の見直しは、「骨格提言」、この勧告、そして障害者権利条約に基づいて着実に実行すべきです。

私も国会で努力することをお約束して連帯のメッセージと致します。

2023年10月28日

立憲民主党 衆議院議員

阿部とも子



「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 2023 メッセージ

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラムにご参加の皆さんに、心から連帯のメッセージをお送りします。

障害の有無にかかわらず個人として尊重されることなどを盛り込んだ「骨格提言」（障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言）が出されて12年。国連の障害者権利委員会は昨年、日本に対し、障害者の権利を中心とした法律や政策を求める総括（所見）を採択しました。

いま実現すべきは、障害者権利条約、国連の総括所見、総合福祉部会の「骨格提言」に基づいた障害者総合支援法の制定です。そのために、ともにがんばりぬく決意です。

2023年10月28日

日本共産党 衆議院議員 塩川鉄也



「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラムの開催にあたり、今年はどうしても日程が合わず、参加できないことをお詫び致します。

国連の総括所見は出ましたが、日本政府のその後の対応を見ると、真剣に取り組む姿勢が見えません。

また、来年度予算の概算要求においては、障害政策関連の予算額は増加しているものの、その中身については、必要としている方に必要としている支援がしっかりと届いているか、現場の声をお聞きしてチェックをしていかなければなりません。

私も立憲民主党の障がい難病プロジェクトチームの座長として、様々な問題が前進するよう、積極的に取り組んでおります。

全ての人々が、自分が希望する生活を送ることができる、そのような共生の社会を一刻も早く実現しなければなりません。

強く、やさしい日本をつくる、その思いを胸にこれからも議員活動に励んで参ります。

2023年10月28日

参議院議員 横沢たかのり

2023 大フォーラムへのメッセージ

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラムの開催おめでとうございます。

2022年9月、国連の障害者権利委員会は、障害者権利条約にもとづく日本政府の取り組みについて、「障害関連の国内法および政策が、条約に含まれる障害の人権モデルと調和していない」ことへの懸念を示し、すべての障害者を障害のない人と同等に人権の主体と認める同条約に整合した政策への改善を求める勧告を出しました。

いまこそ、「わたしたち抜きにわたしたちのことを決めないで」の合言葉を高く掲げ、障害者権利条約にふさわしい障害者施策の実現を！

私も、みなさんと心ひとつに全力で取り組む決意です。

2023年10月28日

日本共産党 衆議院議員

望井亮



「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム2023 ご参加のみなさまへ

日本共産党参議院議員の岩淵友です。「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム2023にご参加のみなさまに心からの連帯のメッセージを送ります。障害者権利条約や「骨格提言」を実現し、当事者参加での障害者福祉法制の見直しが必要です。誰もが安心して暮らしやすい社会にするために、ともにがんばりましょう。

2023年10月28日



「骨格提言」の完全実現を求める2023大フォーラムへのメッセージ

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラムにご参加の皆さんに、心から敬意を表します。本日は出席がかなわず申し訳ございません。

輸入ものを中心とする食料品やガソリン代・電気代の高騰が生活を圧迫しています。アベノミクス以降の日銀による異次元緩和で生じた円安が、物価の高騰につながっています。ウクライナ戦争などの世界情勢も影響して、円の購買力はどんどん低下しています。岸田政権は「経済、経済」と言いながら、選挙目当ての小手先のバラマキ策を打ち出すばかりで、経済を再生し、社会保障を立て直して、国民のいのちと暮らしを守るという熱意は感じられません。アベノミクスの失敗を総括し、日銀の異次元緩和を終わらせない限り、国民生活は立ちゆかなくなります。

沖縄では、県民の民意を無視する形で、辺野古新基地建設が強行されています。大浦湾側の軟弱地盤問題など、技術的にも建設は不可能です。にもかかわらず、岸田政権は政府を挙げて辺野古新基地建設を強行するために、ついに歴史上初めて設計変更承認申請に対する代執行訴訟で県を訴えるという暴挙に出ています。辺野古新基地建設の総工費は、防衛省試算で9,300億円、県の試算では2兆5,500億円にもなります。政府は辺野古新基地建設を断念すべきです。

2010年の障害者自立支援法違憲訴訟における「基本合意」と2011年の「骨格提言」は、障がい当事者の皆さんも加わって成立した画期的なものでした。これらは日本政府と国民との約束であり、政権が変われば守らなくてもよい、というようなものではありません。にもかかわらず、自民党政権はこの約束をホゴにし続けています。私たち「沖縄の風」も障がい当事者の皆さん、支援者の皆さんとともに、「基本合意」「骨格提言」の実現、「誰一人取り残さない社会」にむけた政治をつくっていきます。

岸田政権を含め、安倍政権以降の自民党政権で提唱された「自己責任」と「自助」では、多くの国民、特に困難を抱える人々が社会から取り残されてしまいます。参議院会派「沖縄の風」は、これからも、立憲野党と連携し、国民のいのちと暮らしを守る政治を取り戻すために全力を尽くします。

最後に、2023大フォーラムのご成功と、ご参加の皆様のみずみずのご健勝を祈念してメッセージいたします。



2023年10月28日

参議院会派「沖縄の風」 参議院議員 伊波 洋一